

CS682

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CS682 取り扱いの便宜を図るため、製品同梱 英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、製品同梱の英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2011 年 6 月 6 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く改変されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、電源アダプター、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

※本保証期間は2007年9月1日以降にご購入された製品に適用されます。それ以前に購入された製品については、保証期間は1年間です。

【補足】

- ・本規定は ATEN/ALTUSEN ブランド製品に限り適用します。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行いますが、それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当代金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対する保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
FCC.....	3
RoHS.....	3
SJ/T 11364-2006	4
同梱品.....	5
概要	6
特長	7
システム要件.....	8
コンソール.....	8
コンピューター	8
ケーブル	8
OS	9
製品各部名称	10
CS682	10
ワイヤードリモコン.....	10
セットアップ方法.....	12
接続図	13
基本操作.....	14
手動切替.....	14
マウスによるポート切替.....	14
ホットキーによるポート切替.....	15
ホットキーモードの代替起動キー	15
ホットキー一覧表	16
オートスキャン表示時間.....	17
キーボードエミュレーション	18
ファームウェアアップグレードモード	19
アップグレード失敗	20
トラブルシューティング	21
製品仕様.....	22

ホットキーのデフォルト設定.....	24
--------------------	----

FCC

この装置はFCC(米国連邦通信委員会)規則、パート15の副章Jに従い、デジタル装置クラスBの制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起すことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款, 但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



同梱品

CS682 USB 2.0 DVI KVM スイッチの製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CS682 2ポートUSB 2.0 DVI KVM スイッチ ×1
- ◆ ワイヤードリモコン ×1
- ◆ 英語版ユーザーマニュアル ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

概要

CS682 は、旧モデルであるケーブル KVM スイッチ Petite シリーズから大幅に進化し、DVI 仕様準拠、(USB マウスポートに USB ハブを接続させることによる)USB2.0 デバイスの共有、2.1 サラウンドシステムの重厚な低音再現、いつでも最新バージョンに保つことができるファームウェアアップグレード機能を搭載しています。

CS682 のもう一つの新しい機能は、ワイヤードリモコンを同梱していることです。つまり、KVM スイッチ本体は人目につかない場所に置いておきながら、机の上からポート選択ができるようになりました。また、新しいホットキーに加え、CS682 は USB マウスのスクロールホイールをダブルクリックして、ポートの選択ができます。

さらに、CS682 はブート時のディスプレイ問題を回避し、ポートを切り替えた際に解像度を最適化する ATEN の新技術「ビデオダイナシク」テクノロジーを搭載しています。

最後に、CS682 はコンピューターの電源が入っていない場合には、自動的に他の電源が入っているコンピューターに切り替えることができる「電源状態検知機能」も搭載しています。

CS682 は、DVI の機能性、USB 2.0 デバイスが共有できる利便性、そして使い勝手の良い操作性を兼ね備えているので、いつでも最新のデスクトップマルチメディアアプリケーションに対応することができます。

特長

- ◆ 1 箇所の DVI コンソールから 2 台の USB インターフェースコンピューターの操作が可能
- ◆ DVI-D 仕様準拠
- ◆ コンピューター切替方法 - ワイヤードリモコン、ホットキー、USB マウス
- ◆ オーディオ対応 - ベースレスポンスに優れた 2.1ch サラウンドオーディオ出力
- ◆ マルチプラットフォーム対応 - Windows 2000 / XP / Vista / 7、Mac、Sun、Linux
- ◆ ケーブル(1.2m×2 本)一体化のコンパクトデザイン
- ◆ ワイドスクリーン LCD モニター対応
- ◆ ATEN 独自のビデオダイナミック技術(ディスプレイエミュレーション) - ブート時のディスプレイ問題を回避し、ポートを切り替えた際に解像度を最適化
- ◆ 電源状態検知機能 - 片方のコンピューターの電源が入っていない場合は、もう片方の電源が入っているコンピューターに自動切替
- ◆ マルチメディアキーボード対応
- ◆ ワイヤレスキーボード、マウス対応
- ◆ コンソールマウスポートエミュレーション/バイパス機能 - ほとんどのマウスドライバー及び多機能マウス対応
- ◆ Mac/Sun キーボードエミュレーション対応*
- ◆ USB 2.0 マウスポートに USB ハブを接続して USB 2.0 デバイスを共有可能
- ◆ HDCP 準拠
- ◆ 電源不要のバスパワー対応
- ◆ ファームウェアアップグレード可能

-
- 注意:**
1. PC キーボードを使用した場合はキーの組み合わせで Sun/Mac キーボードの特殊キーが入力できます。
 2. Sun/Mac キーボードを使用した場合は Windows マシンでは特殊キーが効きません。
 3. USB 2.0 マウスポートに USB ハブを接続する場合、マウスエミュレーションモードを解除してください。詳しくは p.16「ホットキー一覧表」をご参照ください。
-

システム要件

コンソール

- ◆ 接続するコンピューターの最大解像度に適した DVI モニター
- ◆ USB キーボード及び USB マウス
- ◆ スピーカー及びマイク(オプション)

コンピューター

製品に接続するコンピューターには下記のハードウェア環境が必要です。

- ◆ DVI ビデオポート
- ◆ USB タイプ A ポート
- ◆ スピーカー及びマイクロフォンポート(オプション)

ケーブル

CS682 は、さらなる使いやすさを追求した KVM スイッチとオーディオケーブルが一体化されたデザインなので、ケーブルは不要です。

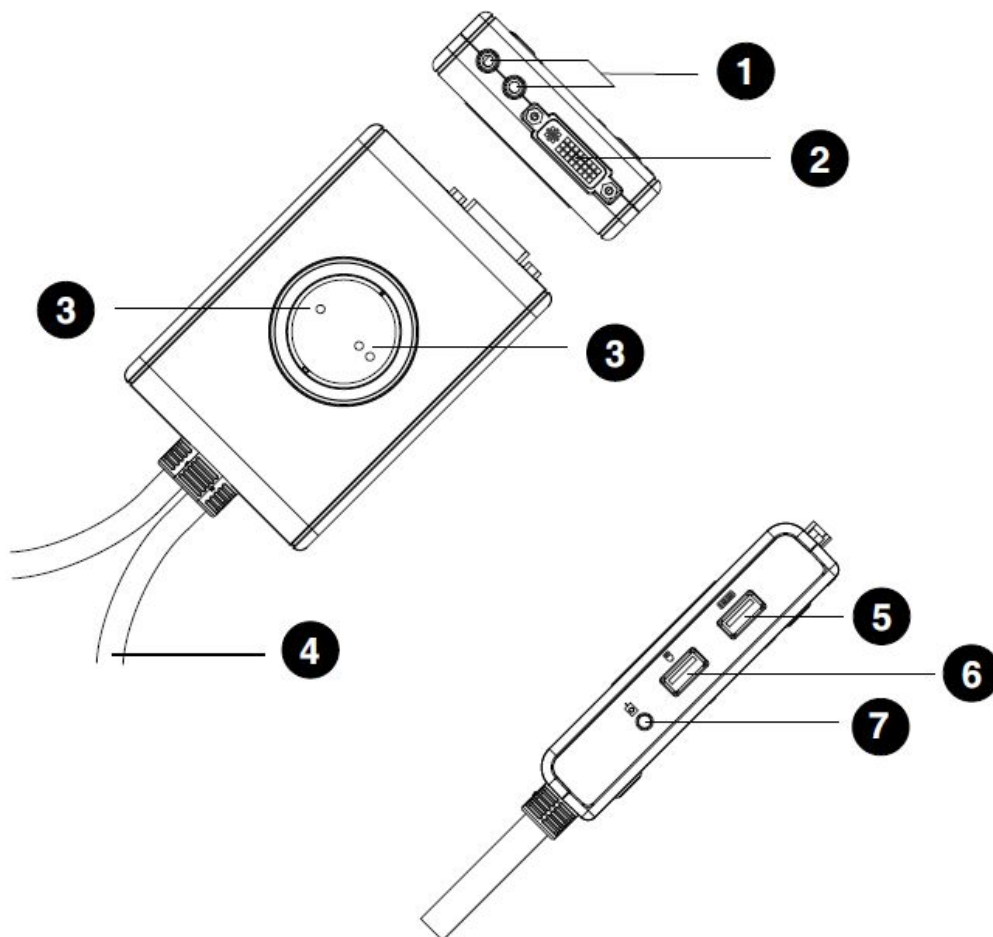
OS

本製品の対応 OS は下表のとおりです。

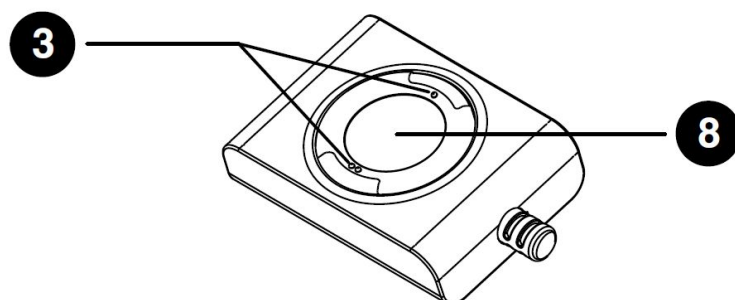
OS		バージョン
Windows		2000/XP/Vista/7
Linux	RedHat	6.0 以降
	SuSE	8.2 以降
	Mandriva (Mandrake)	9.0 以降
UNIX	AIX	4.3 以降
	FreeBSD	3.51 以降
	Sun	Solaris 9 以降
Novell	Netware	5.0 以降
Mac		OS 9 以降
DOS		6.2 以降

製品各部名称

CS682



ワイヤードリモコン



No.	名称	説明
1	コンソールオーディオポート	スピーカーとマイクのプラグをここに接続します。
2	コンソールモニターポート	DVI モニターをここに接続します。
3	ポート LED ランプ	<p>ポート LED ランプで状態を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ LED ランプが点灯している場合、そのポートに接続されたコンピューターが選択され KVM 操作ができることを表します。 ◆ LED ランプが点滅している場合、そのポートに接続されたコンピューターをオートスキャン機能でスキャン中であることを表します。 ◆ LED ランプが消灯している場合、そのポートは選択されていないことを表します。
4	KVM ケーブル	CS682 に一体化した KVM ケーブルのコネクターを、2 台のコンピューターに接続します。詳細は p.13「接続図」を参照してください。
5	コンソールキーボードポート	USB キーボードをここに接続します。
6	コンソールマウスポート	USB マウスをここに接続します。
7	ワイヤードリモコン用ジャック	ワイヤードリモコンのプラグをここに接続します。
8	ポート選択ボタン	ポート選択ボタンを押して 2 台のコンピューター間の KVM 操作とオーディオを切り替えます。

セットアップ方法

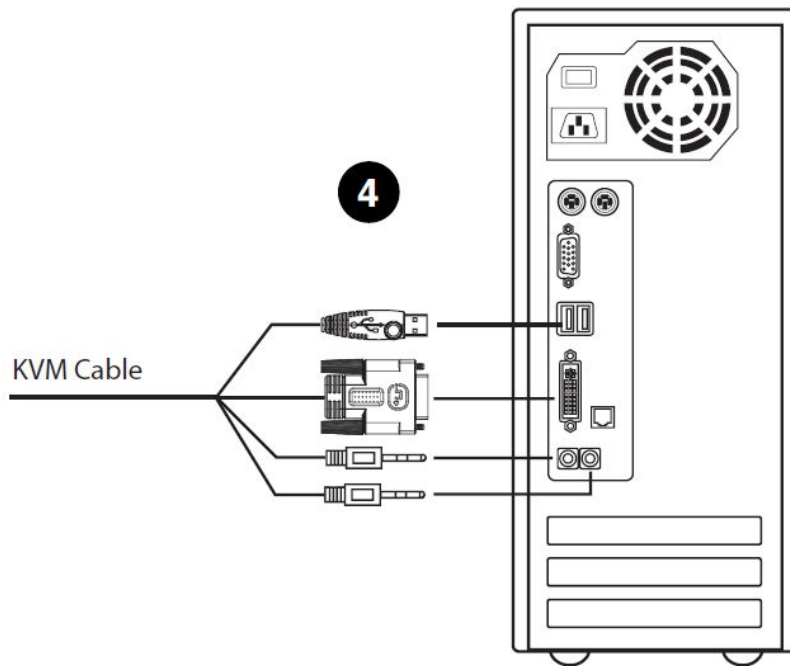
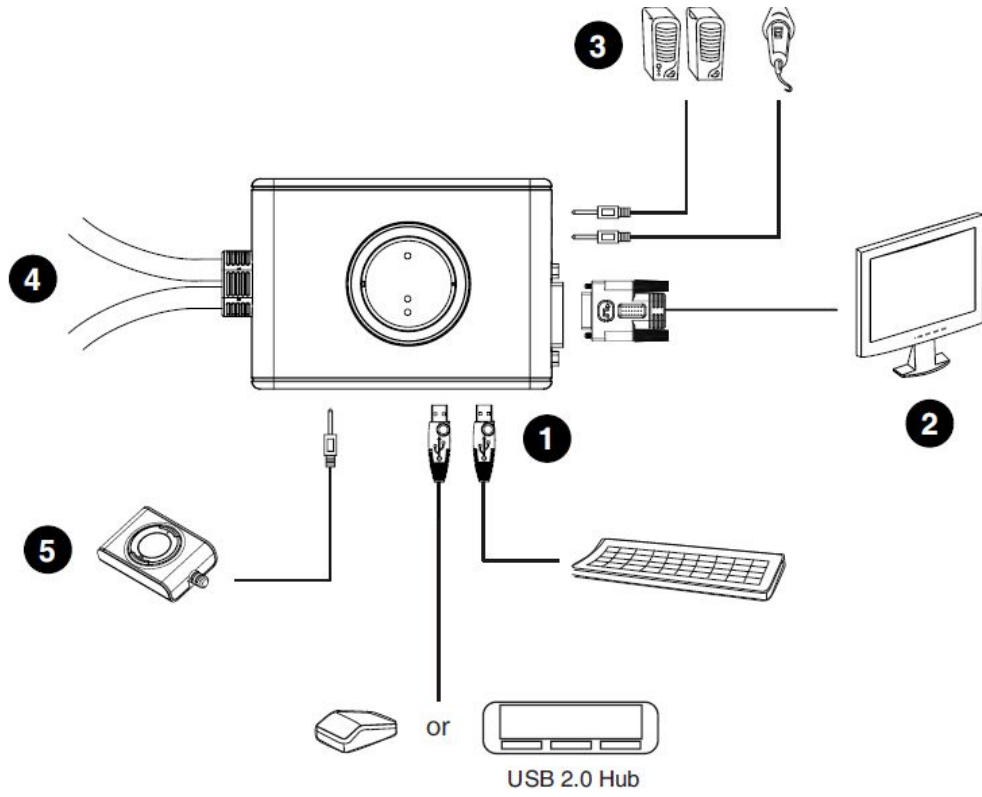


1. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。コンピューターにキーボード起動機能がついている場合は、ここから電源ケーブルも抜いてください。
 2. セットアップする全ての機器に適切な接地がされていることを確認してください。
-
1. キーボードとマウスを CS682 の側面にある USB ポートに接続してください。ポートには色付けと対応するアイコンが描かれています。

注意: マウスポートは USB 2.0 対応なので、USB 対応デバイスを接続することができます。また USB ハブを接続すれば、複数の USB デバイスを使用することができます。(但し、この場合、外部電源が必要になります。)
 2. CS682 のフロントにある DVI ポートにモニターを接続した後、モニターの電源を入れてください。
 3. CS682 のフロントにあるコンソールオーディオポートにスピーカーとマイクを接続してください。(オプション)
 4. KVM ケーブルの USB、ビデオ、及びオーディオコネクタをセットアップするコンピューターの対応するポートにそれぞれ接続してください。
 5. ワイヤードリモコンを使用する場合は、CS682 の側面にあるワイヤードリモコンジャックにそれを接続してください。
 6. コンピューターの電源を入れてください。

注意: CS682 の初期設定では、最初に電源の入ったコンピューターの KVM 操作ができるようになっています。
-

接続図



基本操作

CS682 に接続されているコンピューターへの接続には、手動(ワイヤードリモコンのボタンを操作)、マウス(マウスホイールをクリック)、キーボードからのホットキーの3種類の操作方法をご用意しております。

手動切替

ワイヤードリモコンのボタンを押すと2台のコンピューター間でKVM操作とオーディオが切り替わります。ポートLEDランプが点灯しているポートに接続しているコンピューターのKVM操作とオーディオが使用できます。

注意: USBデバイスの動作中にはポートを切り替えないでください。KVM操作とUSBデバイスを個別に切り替えるには、USB KVMP シリーズをご使用ください。詳しくは弊社ウェブサイトをご覧ください。

マウスによるポート切替

本製品は、マウスによるポート切替に対応しています。これは、お使いのUSBマウスのスクロールホイールをダブルクリックすることで、ポートを交互に切り替える操作です。

注意:

1. この切替方法は、コンソールにUSB 3-key スクロールホイールマウスを使用した時に限りご利用いただけます。
2. デフォルトではこの機能はOFFに設定されています。
3. この切替方法は、マウスエミュレーション機能が有効になっている時に限りご利用いただけます。詳細については p.16「ホットキー一覧表」をご参照ください。

ホットキーによるポート切替

各ポート切替は、いずれも[Scroll Lock]キーを2回押して開始します。詳しくは p.16「ホットキー一覧表」をご参照ください。

注意: [Scroll Lock]キーの使用が他のプログラムの動作と競合する場合は、このキーの代わりに[Ctrl]キーがお使いいただけます。

ホットキーモードの代替起動キー

- ◆ [Scroll Lock] [Scroll Lock] [X] [Enter]の順に押してください。これでホットキーモードの起動キーが[Ctrl]に変更されます。

または、

- ◆ ワイヤードリモコンのボタンを3秒間押したままにしてください。これでホットキーモードの起動キーが[Ctrl]キーに変更されます。

注意: この操作は、デフォルトキーと代替キーとに交互に切り替えます。









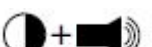




ホットキー一覧表

ホットキー		機能
[Scroll Lock]	[Enter]	ポート間の KVM 操作とオーディオを交互に切り替えます。 注意: KVM 操作とオーディオが別のポートにある場合は KVM 操作のみが切り替わります。
[Scroll Lock]	[k] [Enter]	KVM 操作のみを切り替えます。
	[s] [Enter]	オーディオのみを切り替えます。
	[a] [Enter] [n]	オートスキャンモードを有効にします。ポートの選択が n 秒間隔で切り替わります。 注意: n の部分には 1~4 の数字を入力してください。各ポートを表示する時間は p.17「オートスキャン表示時間」をご参照ください。 オートスキャンモードを終了するには、[Esc]またはスペースキーを入力してください。
	[x] [Enter]	ホットキーモードの起動キーを[Scroll]または[Ctrl]に切り替えます。
	[m] [Enter]	マウスエミュレーションを有効または無効にします。
	[w] [Enter]	マウスによるポート切替を有効または無効にします。
	[F2] [Enter]	Mac キーボードマッピングを有効にします。
	[F3] [Enter]	Sun キーボードマッピングを有効にします。
	[F10] [Enter]	使用 OS に合わせて自動的にキーボードマッピングをします。
	[F4] [Enter]	現在の切替設定を一覧表示します。
	[F5] [Enter]	USB キーボードとマウスをリセットします。
	[d] [Enter]	ビデオダイナシク機能を起動します。このビデオダイナシク機能はブート時のディスプレイ問題を回避し、ポート切替時に解像度を最適化します。
	[r] [Enter]	ホットキーをデフォルト値にリセットします。

オートスキャン表示時間

n	ポート表示時間
1	3 秒間
2	5 秒間(デフォルト)
3	10 秒間
4	20 秒間

キーボードエミュレーション

PC 互換キーボード	Mac キーボード	PC 互換キーボード	Sun キーボード
[Shift]	Shift	[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl]	Ctrl	[Ctrl] [F2]	Again
		[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [1]		[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [2]		[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [3]		[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [4]		[Ctrl] [F7]	Open
[Alt]	Alt	[Ctrl] [F8]	Paste
[Print Screen]	F13	[Ctrl] [F9]	Find
[Scroll Lock]	F14	[Ctrl] [F10]	Cut
	=	[Ctrl] [1]	
[Enter]	Return	[Ctrl] [2]	
[Backspace]	Delete	[Ctrl] [3]	
[Insert]	Help	[Ctrl] [4]	
[Ctrl] 	F15	[Ctrl] [H]	Help
			Compose
			

注意: 上記の組み合わせでキーを入力する場合には、最初に入力するキー ([Ctrl]キー) を離してから、次のキーを入力するようにしてください。

ファームウェアアップグレードモード

CS682 のファームウェアをアップグレードする場合は、下記の手順に従って操作してください。

1. KVM スイッチに接続されていないコンピューターから ATEN のインターネットサポートサイト (<http://www.atenjapan.jp/>) の CS682 の最新ファームウェアアップグレードパッケージをダウンロードしてください。
2. CS682 をご使用の KVM セットアップ接続から外してください。ワイヤードリモコンのボタンを押したままにしてください。そのボタンを押したまま、KVM ケーブルの紫色の USB コネクタを、ファームウェアアップグレードパッケージをダウンロードしたコンピューターの USB ポートに接続してください。
3. これで CS682 のファームウェアアップグレードモードが有効になります。2 つのポート LED ランプが共に点滅し、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを表します。

注意: CS682 のファームウェアアップグレードモードが起動している間は通常のキーボードとマウスの機能はサスペンドされます。ファームウェアアップグレードの完了後、またはファームウェアアップグレードを中止した後に、通常の操作ができるようになります。

4. ファームウェアアップグレードパッケージファイルを起動してください。「Firmware Upgrade Utility」初期画面が表示されます。
5. ライセンス使用許諾諸契約を確認し、同意する場合は「I Agree」ボタンを有効にしてください。
6. 「Next」ボタンをクリックしてください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。このパッケージファイルでアップグレードできる全デバイスを「Device List」パネルに一覧表示します。
7. 一覧からデバイスを選択すると、このデバイスの説明が「Device Description」パネルに表示されます。「Next」ボタンをクリックしてアップグレードを実行してください。
アップグレードが進むにつれ、ステータスメッセージは「Status Messages」パネルに、また、完了までの進捗は「Progress」バーにそれぞれ表示されます。
8. アップグレードが完了すると画面にアップグレード完了の画面が表示されます。「Finish」ボタンをクリックしてファームウェアアップグレードユーティリティを終了させてください。
9. 再び KVM をセットアップしてください。 p.12「セットアップ方法」をご参照ください。

アップグレード失敗

「Upgrade Succeeded」の画面が表示されない場合、アップグレードが失敗したことを表します。その場合、以下の手順に従って操作してください。

1. コンピューターから KVM ケーブルの USB コネクタをはずしてください。
2. ワイヤードリモコンのボタンを押したままにしてください。ボタンを押したままにしている状態で KVM ケーブルの USB コネクタをコンピューターに再接続してください。
3. CS682 の電源を入れてください。デフォルトのファームウェアが動作するようになるので、p.19 「ファームウェアアップグレードモード」の手順 3～9 に従って、もう一度操作し直してください。

トラブルシューティング

問題	考えられる原因	解決方法
KVM ケーブルをホットプラグした後でモニターに何も表示されなくなる。	DVI グラフィックカードがケーブルのホットプラグに対応していない。	使用するデバイスの電源をすべて切ってください。CS682 の電源を切ってすべての KVM ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。確認できたら、CS682 の電源を入れた後コンピュータの電源を入れてください。
	グラフィックカードのドライバーが最新のものでない。	最新のグラフィックカードドライバーにアップグレードしてください。
マウスやキーボードが反応しない。	KVM スイッチのリセットが必要。	使用するデバイスの電源を全て切ってください。また CS682 の電源も切り、5 秒程経過した後で電源を入れ直してください。
マウスポート切替機能が動作しない。	マウスがこの機能に対応していない。	USB 3 ボタンスクロールホイールマウスのみがこの機能に対応しています。
	マウスエミュレーションが無効になっている。	マウスエミュレーションを有効にしてください。詳しくは p.16「ホットキー一覧表」をご参照ください。
[Scroll Lock]キーを2度押しのホットキーでポートを切り替えることができない。	キーボードが[Scroll Lock]キーによる起動に対応していない。	ホットキーセッティングモードの代替起動キーに切り替えてください。詳細については、p.13「ホットキーモードの代替起動キー」をご参照ください。

製品仕様

機能		CS682
コンピューター接続数		2
コンソール接続数		1
コンピューター側 対応インターフェース	キーボード	USB
	マウス	
コンソール側 対応インターフェース	キーボード	USB
	マウス	
ポート選択方法		プッシュボタン(ワイヤードリモコン)、 マウス、ホットキー
コンピューター側コネク ター	キーボード	USB タイプ A オス×2
	マウス	USB タイプ A オス×2
	モニター	DVI-D オス×2
	スピーカー	ミニオーディオプラグ×2
	マイク	ミニオーディオプラグ×2
コンソール側コネクター	キーボード	USB タイプ A メス×1
	マウス	USB タイプ A メス×1
	モニター	DVI-D メス×1
	スピーカー	ミニオーディオジャック×1
	マイク	ミニオーディオジャック×1
ワイヤードリモコン側コネクター		ミニオーディオジャック×1
LED	ポート選択	グリーン×2
	ワイヤードリモコン	グリーン×2
ケーブル長	コンピューター側	1.2m×2
	ワイヤードリモコン側	1.8m
キーボード・マウスエミュレーション		USB
スキャンインターバル		3、5、10、20 秒/5 秒(デフォルト)
電源仕様		USB バスパワー

(表は次のページに続きます)

機能		CS682
消費電力		5V、3.05W
VGA 解像度		最大 1,920×1,200
動作環境	動作温度	0～50℃
	保管温度	-20～60℃
	湿度	0～80%RH、結露なきこと
ケース材料		プラスチック
重量		500g
サイズ(W×D×H)		78×111×25mm
同梱品		クイックスタートガイド×1 ユーザーマニュアル×1 ワイヤードリモコン×1

ホットキーのデフォルト設定

設定	デフォルト
ポート切替	[Scroll] [Scroll]
オートスキャン表示時間	5 秒間
キーボード操作プラットフォーム	PC 互換
マウスエミュレーション	有効
マウスによるポート切替	無効